

## 私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

## 「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	夢風船			第三者評価受審年度	平成30年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (30年度)	改善計画 (30年度末時点)	実施状況 (30年度末時点)	実施状況 (30年度末時点)	
風通しの良い関係性を活かし、現場だけでなく、事業所運営に関する声も職員から挙がる環境づくりが期待される。	現場の活動や、利用者の支援方法に関しては職員から活発な意見が出され、業務の改善や事業の充実に大きな効果を出している。事業計画の設定や運営面に関しては、経営に関する情報や知識の不足もあり、積極的な意見の表出には至っていない。現在、職員会議で定期的に情報を伝達しているほか、経理や制度に関する学習会を個別に実施しているところである。	職員会議での情報伝達、また経理や制度に関する学習会を継続し、事業運営に必要な知識の習得を進めるとともに、事業計画については職員からの提案を盛り込むような取組みを行う。	職員会議での情報伝達、また経理や制度に関する学習会を継続し、事業運営に必要な知識の習得を進めている。次年度の事業計画の重点目標について、職員からの提案を募集のうえ、職員会議で検討を行った。		
常時医療的ケアが必要な障害者の受け入れ体制を確立していくことが期待される。	夢風船では現在、定員を超過しており、新たな受入れが困難な状況である。同法人の生活介護事業所の夢の樹みどりと協同しながら、医療ケアの実施に向けて検討を進めることとなっている。	夢風船では現在、定員を超過しており、新たな受入れが困難な状況である。医療ケアについては法人として取り組む必要がある。同法人の生活介護事業所の夢の樹みどりと協同しながら、医療ケアの実施に向けて検討を進める。	夢風船では現在、定員を超過しており、新たな受入れが困難な状況である。医療ケアについては法人として取り組む必要がある。同法人の生活介護事業所の夢の樹みどりと協同しながら、医療ケアの実施に向けて検討中。		
作成したマニュアルをベースに改訂の基準を明確にし、業務標準化への一層の取組みが期待される。	てんかん発作や健康管理のためなどの業務マニュアルは整備している。また、支援マニュアルも作成しているが、改定が追いついていない状況である。個別の利用者に対応した支援方法や留意点等は、ケース記録や個別支援計画の中での記載に留まり、マニュアルは作成していない。	最低限必要な支援方法や留意点などを簡潔にまとめた支援マニュアルの作成を行う。支援の確認や新規の職員への確実な伝達に活用する。	最低限必要な支援方法や留意点などを簡潔にまとめた支援マニュアルを作成した。作成に関しては職員会議で確認し、職員の意見を取り入れながら実施した。		